

研究所だより

編集・発行

千葉県長生地方教育研究所
茂原市東郷富士見2300-1

TEL 0475(24)9721・FAX 0475(23)4820
H P <http://www.choseikaikan.or.jp/>
メール kenkyujo@beach.ocn.ne.jp



「知恵を絞り、汗をかき、夢の実現を・・・」

千葉県教育庁東上総教育事務所
所 長 根 本 悦 光

<はじめに>

平成26年4月に東上総教育事務所の所長を拝命いたしました根本悦光と申します。東上総の子ども達の成長のため、精一杯努めていきたいと思っておりますので、どうかよろしくお願いたします。

今年度の東上総教育事務所の運営の方針として、

- ①自己の意識改革を行い、考えなき踏襲はしない。
- ②研修会、訪問、文書等目的意識をしっかり持つ。
- ③言うべきことは言う。(お茶を濁す指導はしない)

という3つの共通理解のもと「明るく、ぶれずに、前向きに」を合言葉に、本気で頑張っている学校や教職員を全面的に全力で支援していきたいと思っております。

<千葉県教育委員会の施策>

千葉県教育委員会では、平成22年3月に策定された千葉県教育振興基本計画「みんなで取り組む『教育立県ちば』プラン」の最終年度にあたり「ふれる」「かかわる」そして「つながる」をテーマにして、①世界にははたたく人材を育てる「夢・チャレンジプロジェクト」②ちばのポテンシャルを生かした教育立県の土台づくりの「元気プロジェクト」③家庭の力を高め、人づくりのために力をつなげる「チームスピリットプロジェクト」の3つのプロジェクトと14の重点施策で推進しています。

学力向上に向けての施策としては、「ちばっ子『学力向上』総合プラン」が策定されており、ファイブアクションという名称で取り組んでいます。

- (1) 教職員の授業力向上を目指した「教師力トップ」チャレンジプラン
- (2) 学習内容の充実を図り、児童生徒の主体的な学びを支援するための取組である「子どもたちの夢・チャレンジ」サポートプラン
- (3) 読書活動の充実と家庭学習を促進するための取組である確かな学びの礎プラン
- (4) 豊かな体験学習を通して、学び意欲を向上させるための取組である興味ワクワク「体験学習」推進プラン
- (5) 学力向上に係る事業評価を行う「学力向上」検証プラン

県教育委員会としては、学力向上に向けて、教師力の向上、児童生徒の学び支援、読書と家庭学習の定着、体験学習、学力の検証の5つの方向からアプローチしており、東上総管内の各学校においても、積極的に活用していきたいと考えています。

さらに、「学校教育指導の指針」の中では、『生きる力』の育成に向けて、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」「キャリア教育」「地域とともに歩む学校づくり」が掲げられています。県教育委員会のホームページに、学校教育指導の指針の説明資料が掲載され、改訂箇所や具体的な内容等が記述されていますので、再度熟読し、各学校内で共通理解をお願いします。

<東上総管内の教育の推進について>

まずは、先生方が一人ひとりをこんな子にしたい、こんな学校にしたいという夢(目標)を持ってほしいと思います。夢があるからどうしていいこうという計画が生まれ、計画があるからこうしようとする行動・過程があり、行動す

るから成果(反省)が生まれ、成果(反省)があったので、これからどうしようかの考えが生まれます。その積み重ねが、子ども達の大きな成長につながります。ぜひ、学校に勤務する全ての教職員がそれぞれの立場で、明確な夢(目標)を持っていただきたいと思っております。

管内の課題の1つである学力向上も同様です。まずは、自校の児童生徒の学力の状況を県の標準学力検査や全国学力学習状況調査を活用して、実態を把握した上で、具体的な方策を講じることが必要です。

<学力向上のための様々な学校の具体的な方策>

- ①授業中の約束(板書のきまり、ノートの方法、授業中の約束、学習の仕方等)を共通理解し、継続的な指導を徹底して行う。
- ②学期ごとの各教科の具体的な目標を定めた「マニフェスト」を保護者に提示し、通知表の代わりに評価として活用する。
- ③基礎・基本の定着を図るためのドリルタイムを朝と昼の時間割に2箇所設定する。
- ④夏・冬・春の長期休みに学校独自の学習帳を作成し、学習習慣の定着を図る。
- ⑤長期休業中に地域の方を講師とした学習講座や体験・実験等講座の開催をする。
- ⑥放課後を使って、遅れを取り戻すための勉強会を計画的に設定する。
- ⑦家庭学習カレンダー等を活用して、家庭での学習習慣の定着を図る。

以上のように今までの方策にとらわれず、学校の実態に即した独自の取組や検証を行い、学力向上に向けて全力で推進していくようにお願いします。

2つめの課題としては、不登校対策ですが、東上総管内でも憂慮する様々な問題が発生しています。学校、保護者、関係諸機関等で個々に対して様々な方策を進めていただいておりますが、各学校において、該当の児童生徒の動向を毎日きちんと把握して、必ずその毎日のその子に対する対策を行ってほしいと思っております。そして、学校は「忘れていないよ」というメッセージを発信し続けてほしいと思っております。

3つめの課題は、人材育成です。「学校の戦力が育っていない」ということを耳にしますが、はたして正しい育て方をしているのでしょうか。「しっかり頑張れ」とか「子どもの立場になって考える」という曖昧で、分かりにくい指導になっていませんか。教える側が当然知っていると思うことも、相手にとっては常識ではありません。「誰が・いつ・何を・どうする」という行動を細分化して、具体的な行動を落とし込んでマニュアル化することが大切です。授業に関しては、各学校に配付した『生きる力を育む東上総の教育』が、各教科等の学習の仕方や具体的な方法を明確に示し、マニュアル化しています。ぜひ、研修の折には積極的な活用をお願いします。

<おわりに>

私たち教職員が総力を結集して、知恵を絞り、汗をかい、東上総の全ての子ども達の夢(目標)の実現に向けて、誠心誠意取り組んで行きましょう。

「負けるな! ひるむな! 立ち向かえ!」



キャリアアップに研究所の活用を

長生地方教育研究所 所長

白子町立南白亀小学校長 高山 佳久

1 はじめに

現在の教育を取り巻く情勢は、少子高齢化、高度情報通信化などのさまざまな社会変化に伴い、大きく変化してきています。このような教育環境が激変する中、東上総地区の小・中学校では50代以上の教職員が全教職員の35%以上を占めており、退職者が増加している現状にあります。それに比例し新規採用者はここ数年100名を超える大量採用が続いています。

長生管内の学校においても、若手教員が毎年増加していることを受け、経験豊富な教職員の教育技術等の力を確実に若手に引き継いでいくことが大きな課題となっています。

2 今教職員に求められているリーダーとしての力

長生地区では長い間若い教職員が採用になっていくことは少ない現状にありました。いつまでも若手と思っていた中堅層以上の教員の皆さんは、ここ数年で若手が急に増え、あつという間にベテランとみられてきたと感じている場面が増えてきたのではないのでしょうか。さらに教員を取り巻く状況は大きく変わっていきます。10年後の自分の勤務する学校を想像してみてください。現在は、先輩の教職員がいろいろなことをアドバイスしてくれていると思いますが、10年後は現在千葉県の小・中学校の40%を占めている50代の先輩たちがいなくなってしまう。小学校では、30歳から40歳までの教員数は全教員数の40%弱です。10年後は、20代、30代の教員が6割を占めることとなります。

(平成22年度千葉県教育委員会の調査した学校教員統計調査報告書より)したがって、現在の中堅・若手の教職員は、近い将来必ずリーダーとしての役割を否が応でも求められることとなります。その時になって、後輩に適切なアドバイスができないというのでは自分が困ることになります。そうならないためには、今から日々キャリアアップのための研修を積んでいく必要があります。

では、どのようなキャリアアップが求められているのでしょうか。教員には常に研究と修養が求められています。研究と修養を積み重ねていくことで、教師力が高まっていきます。しかし、自分一人で研修を行うよりも、複数で同じ内容を探求していくことのほうが成果が上がります。校内研修や校外研修で同じ内容を一緒に研修していくのもその理由の一つです。

そのような研修をとおして若い教員が教師として大きく成長する時、必ず近くによき指導者または優れた助言者がいます。自分が教師になったばかりのころを思い出すと、多くの先輩教師が色々なことを教えてくださり、それが今の自分につながっているのだと思うことはないでしょうか。しかし、10年後そういう大切なことを教えてくれる先輩教師は非常に少なくなります。反対に、教えを乞う後輩教師が増加しています。中堅・若手教員は、10年後にはよき指導者または優れた助言者として、教師の仕事やキャリアの手本となるのが期待されているのです。それとともに、教師としての授業力や指導力などの向上だけではなく、リーダーとして組織をどう動かしていくかというような学校経営参画の力が求められてくるのです。

3 長生教育研究所の役割

長生教育研究所は長生地区の教職員のために、昭和44年に設立されました。長生郡及び茂原市における教育の振興を図ることを目的とし、先に挙げた課題克服の事業をしています。教育の振興を図るためには教職員の力が重要です。研究所はその目的を達成するため、各種研修会や教育課題の探求とその資料の提供などをしてきました。主な事業内容は以下のとおりです。

(1) 教員のキャリアアップを目指す研修の推進

研究所では、主に中堅教員以上を対象に、教育への広い視野と深い洞察力を身につけることを目的に3つの実践的な研修をしています。

①学校経営研修会

学校経営を進めて行くには、問題解決能力、意志決定能力などをはじめさまざまな力が求められます。研修会は、その求められる力を身につけ、実践力を高めていくことを目的に行っています。また、千葉県の教育課題など広い視野をもって学校を運営していく視点の研修も行います。年間8回午後6時からと夏休み中の研修です。管理職試験を受ける教員のための研修とされている方もいらっしゃると思いますが、教員としての視野を広げるための研修です。興味のある方、また内容によって1日だけ参加したいという方でも結構です。詳しくは研究所までお問い合わせください。

②教育研修会

自主研修や長期研修を希望している教員向けで、教育研究や教職教養等に関する事項を研修します。年間7回午後6時からと夏休み中の研修です。将来長研にと思っている方もぜひこの研修会に参加してください。

③教務主任研修会

教務主任を対象に年間5回行います。教務主任としてキャリアを深めるための全体研修と3班に分かれて教務主任相互の連携を深め教育に関する情報交換を行う部会別研修があり、毎回この2つを合わせて実施します。教育課程の編成やそれぞれの学校で実践している特色ある教育実践などについての情報交換などの場となっています。

(2) 教育情報を発信する活動の充実

研究所では長生管内の先生方の作成した優れた指導案や各学校の研究紀要、長期研修生の研究紀要、書籍等の収集をしています。教育資料は2000冊以上、教育資料(紀要、要覧等)は6000冊近くあり、貸し出しもしています。ぜひご利用ください。また、8月11日には、研究所の研究紀要の発表会や長期研修生の研修の報告会を行います。今後も内容の充実を図っていきたいと思いますので、学校や個人の研修にぜひご活用ください。

4 おわりに

教育課題が山積する中、教員の仕事も多忙化がますます進んでいます。研究所は、そのような先生方の負担を少しでも減らし、キャリアアップの一助として貢献できればと考え、活動しています。そのためにも、こうしてほしいなどの要望をぜひメール等で寄せください。

長生郡・茂原市小・中学校「研究主題と研究仮説」

長生郡・茂原市小中学校の「研究主題と研究仮説」について紹介いたします。各学校の研究に役立てていただければと思います。

学校名	研究主題	研究仮説・目標・視点	教科・領域
東郷小	豊かに表現する児童の育成 ～生徒指導の機能を生かして～	1 語彙を豊かにする工夫をすれば、言語能力が高まり、自分の考えや思いを適切に表現できるようになるであろう。 2 生徒指導の機能を生かす工夫をすれば、相手の考えや思いを理解し尊重することができ、表現力も高まるであろう。	全教科
豊田小	学び合う授業の創造 ～言語活動の充実を目指して～	児童一人一人が、教材とともに、友達とともに、教師とともに活動しながら、自分の「学び」を実感できる「学び合う授業」の在り方を、言語活動の充実を目指した実践を通して明らかにする。	国語科 算数科
二宮小	自ら考え、共に学び合う子どもの育成 ～算数科における学び合う授業づくりをととして～	算数科において、以下の点を重視しながら単元を構想し、学習活動の工夫をすれば、子どもたちは自ら考え、友だちと学び合うことができるであろう。 (1) 見通しを持って取り組むことのできる学習課題の設定 (2) 目的に応じた対話の場の設定 (3) 自他の変容を実感させる振り返りの場の設定	算数科
茂原小	人とのかかわり合いを楽しむ子どもの育成 ～外国語の活動を通して～	発達段階に応じた活動の場や方法を工夫すれば、人とのかかわり合いを楽しむことができ、コミュニケーション能力の素地を養うことができるであろう。	外国語活動
茂原西小	自分の思いや考えを確かに表現できる児童の育成 ～算数科を通して～	【視点】 1 互いに高め合おうとする小集団作りへの支援の工夫 2 「わかった」「できた」の喜びが体得できる学習の構想	算数科
五郷小	どの子にも「わかる」「できる」楽しさを味わわせる学習指導 ～ユニバーサルデザインの視点を取り入れた算数科授業を通して～	1 どの子も学びやすい学習環境を整えていけば、学ぶ意欲が高まり、学ぶ楽しさを味わわせることができるであろう。 2 さまざまな言語活動を授業の中に取り入れれば、自分の考えを分かりやすく説明し伝えたり、友達の考えを聞いて自分の言葉で表現したりすることができるであろう。	算数科
鶴枝小	仲間とかかわり合いながら、わかる喜び、できる喜びが味わえる体育の授業づくり	1 仲間とかかわり合いが持てる場の設定を工夫すれば、仲間との励まし合いや助け合いが増え、意欲が高まり、わかる喜び、できる喜びが味わえるであろう。 2 児童の実態や発達段階に応じた指導方法の工夫をすれば、学習の仕方や運動の方法がわかり、わかる喜び、できる喜びが味わえるであろう。	体育科
萩原小	確かな国語力を育む言語活動の授業づくり ～「読むこと」の学習を中心に～	身に付けさせたい力を明確にし、適切な言語活動を位置付けて単元を構成すれば、児童の国語力を育てる授業をつくることができるだろう。	国語科

学校名	研究主題	研究仮説・目標・視点	教科・領域
中の島小	自ら考え、生き生きと問題解決に取り組む子どもの育成 ～算数科の学習を通して～	1 習得したことを生かして思考できるような手立てを工夫すれば、自ら考える力が身につく、意欲的に学習に取り組むことができるであろう。 2 算数的活動を取り入れれば、自分なりの方法で解決したり、考えを多様に表現したりすることができるであろう。	算数科
本納小	基礎基本の習得を図る「わかる授業」の創造を目指して	ねらいを明確にした作業的・体験的な活動を取り入れたり、意図的に既習事項を活用する場を設定したりすれば、わかる授業を展開することができ、基礎基本の習得を図ることができるであろう。	算数科
新治小	自分の考えを持ち、伝え合う力を育む国語指導 ～読むことの学習を通して～	1 児童が自分の課題を解決するために情報を生かしたり使ったりすることができれば、一人一人が意欲的・主体的・協同的に学び合い、高めあうことができるだろう。 2 児童の読書意欲を高め日常の読書活動を活発にすれば、語い力も増え、児童が内容を正しく読み取り、考えを持つ学習を支えるだろう。	国語科
豊岡小	考える楽しさを味わう算数学習の創造	1 課題解決のための見通しを持ち、主体的に考えることができれば、考える楽しさを、味わえるようになるであろう。 2 考えを表現する様々な方法を知り、使うことができれば、考える楽しさを味わう算数学習になるであろう。 3 児童が考えた様々な解決法を共有し、比較検討をする場を設定すれば、考えが深まるとともに、考える楽しさが感じられるようになるであろう。	算数科
東部小	読む力を高める国語科学習指導	児童一人一人が目的意識を持って学習に取り組むことができるような学習計画を立て、単元でめざす姿を例示すれば、読む視点が明確になり、文章を読み取る力を高めることができるであろう。	国語科
緑ヶ丘小	主体的に健やかな体を育む児童の育成 ～学校保健活動の充実をめざして～	1 児童会活動を中心に、身近な学校環境衛生や日常生活における健康の問題点を明らかにし、解決に向けての活動を行うようにすれば、児童は、より良い環境をつくることができるであろう。 2 各教科・総合的な時間等を活用し、自らの課題を解決するための活動を行うようにすれば、児童はより良い環境をつくることができるであろう。 3 学級活動において、健康と環境とのかかわりや病気の予防、望ましい食生活の形成を中心に、発達段階に応じて重点化して指導すれば、児童は、健やかな身体を育むことができるであろう。	特別活動
東浪見小	望ましい国語の能力を身に付けた子どもの育成 ～「話す力・聞く力を育てる」国語科学習を中心にして～	「話すこと・聞くこと」を中心とした国語科学習において、「身に付けさせたい力」を明確にし、そのための言語活動を設定し手立てを工夫すれば、「話す力・聞く力」を伸ばすことができるであろう。	国語科
一宮小	できた喜びを感じる児童の育成 ～基礎・基本の定着を図り、それを活用して課題を解決する授業づくり（算数科を通して）～	算数的活動を充実させ、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着に努めるとともに、身に付けた力で自力解決する授業の展開を図ることで、できた喜びを感じる児童が育つであろう。	算数科
白淵小	自分の考えをもち、表現する子どもの育成 ～考える力を育む国語科「表現・発信」の学習～	1 思考力・判断力・表現力を育む言語活動の工夫 2 言語文化に親しみ、言葉の力を磨く言語活動の工夫 3 読書活動や読書生活の向上につながるような働きかけ・場の設定の工夫	国語科

学校名	研究主題	研究仮説・目標・視点	教科・領域
南白亀小	読書活動を楽しみ、豊かな読書生活ができる児童の育成	<ol style="list-style-type: none"> 1 発達段階に応じた読書指導を効果的に行えば、読書好きな児童が育ち、本離れを防ぐことができるだろう。 2 読書の時間を学校生活及び家庭生活においてしっかりと確保し、保証すれば、望ましい読書習慣の形成を図ることができるだろう。 3 国語科の授業の中で、本を好きになるような読書活動を工夫し、意図的に数多く取り入れることで読書への興味・関心が高まるだろう。 	国語科
関小	一人一人が輝き、互いによりよく生きようとする児童の育成 ～道徳教育を通して～	<ol style="list-style-type: none"> 1 心にひびく資料を選択し、効果的に活用すれば、児童は主体的に自分の考えを深め、活発に活動することができるだろう。 2 発問や学習形態等学び合う場の設定を工夫すれば、自分の気持ちや考えを表現し互いに伝え合う力や、他者を認め尊重し合う心が育つだろう。 3 多様な体験活動と地域的特質を生かした開かれた道徳教育を行えば、自ら進んで道徳的实践をしていく児童を育てることができるだろう。 	道徳
長柄小	思いやりの心を持って、行動できる児童の育成 ～道徳の授業内容の充実と福祉教育の視点からのアプローチをとおして～	<ol style="list-style-type: none"> 1 様々な教育活動に道徳的な視点を加味しながら指導することによって、児童は生きる力を育むとともに道徳的实践力が身につくであろう。 2 福祉教育推進の具体的な活動をとおして、思いやりの心を具体的な形で表現できる児童に育つであろう。 	道徳
日吉小	確かな学力を身に付けた児童の育成 ～算数科における基礎・基本の定着を図る授業改善を通して～	<ol style="list-style-type: none"> 1 算数的活動を通じて、児童の実態に応じた指導や反復による指導を行えば、基礎的・基本的な知識や技能が定着するであろう。 2 みのりタイムや家庭学習の習慣化を通して学習習慣の確立を図れば、基礎・基本の確実な力がつくであろう。 	算数科
長南東小	進んで健やかな心と体を作る「東っ子」の育成 ～分かる楽しさ・できる喜びが味わえる体育学習の実践を通して～	児童の実態や発達段階に応じた運動特性に焦点をあて、その状況にあった指導法を工夫することにより、進んで運動し、心身ともに健やかな児童が育つであろう。	体育科
長南西小	確かな学力を身につけるための授業づくりのあり方 ～教科・領域を通しての効果的なICTの活用～	<ol style="list-style-type: none"> 1 教科・領域でICTを効果的に活用する場面を明らかにしていけば、多様な活動が可能になり、確かな学力が身につくであろう。 2 児童一人一人にICTの操作技術が身につけば、自主的・意欲的に学習に取り組み、学力向上につなげることができるであろう。 	全教科領域
長南小	基礎・基本の力を付けて、確かな読みのできる児童の育成 ～深め合わせる活動の工夫を通して～	深め合わせる活動を工夫し、確かな読みの力を育成する指導・支援のあり方を追究する。	国語科
豊栄小	自らの生き方を考え、道徳的实践力を高める道徳の時間の在り方	<p>道徳の時間において、以下の点を重視しながら授業を構想し、指導法を工夫すれば子ども達は自ら考え、判断し、実践力を高めることができるであろう。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①心に響く資料の効果的な活用 ②対話を中心とした表現活動の工夫 ③家庭や地域社会と手を取り合う道徳教育の工夫 	道徳

学校名	研究主題	研究仮説・目標・視点	教科・領域
土 睦 小	自分の考えをもち、進んで表現できる子どもの育成 ～話し合い活動を大切に算数科授業を通して～	比較検討の場面において、学習形態の工夫や話し合いの焦点化、思考を比較しやすくする工夫をすれば、児童の多様な考えを引き出すことができ、活発に話し合い、考えを深め合っていくことができるであろう。	算 数 科
瑞 沢 小	主体的に学び、確かな学力を身につける児童の育成 ～学力向上を目指した授業改善と学習習慣の改善を通して～	1 朝の学習タイムや家庭学習を充実したり、授業における学び方のルールを身に付けたりすることで学習習慣の確立を図れば、主体的に学び、確かな学力を育てることができるであろう。 2 児童が主体的に学ぶために教師一人一人が課題をもち、指導方法の工夫改善を図れば、確かな学力を育てることができるであろう。	全 教 科 領 域
一 松 小	自らの命を守る防災教育 ～的確に判断し、主体的に行動することができる児童の育成をめざして～		特 別 活 動
八 積 小	自分たちの考えや思いを伝え合うことで、主体的に学べる児童の育成	1 教師が支援・手立ての工夫をすることで、児童が主体的に考え、学習を進めることができるだろう。 2 学習内容に応じて、伝え合う場の工夫をすることにより、学習する意欲が高まり、他の考えに共感したり、考えを深めたりすることができるだろう。	算 数 科
高 根 小	自ら考え、表現する児童の育成 ～算数科における、伝え合い学び合う授業作りを通して～	1 問題把握や問題解決の場面において、基礎的・基本的知識や技能を活用できれば自分の考えを持てるようになり、意欲的に友達に伝えることができるであろう。 2 課題に対して、発表や話し合いの仕方を工夫すれば、表現力が高まり、互いに学び合うことができるであろう。	算 数 科
東 中	生きる力を支える確かな学力を持つ生徒の育成 ～基礎的・基本的学習内容の定着と活用を通して～	基礎的・基本的学習内容の定着と活用を図り、学ぶ楽しさを実感できるわかる授業を実践すれば、学習に対する意欲を高め、確かな学力を身に付けることができるであろう。	全 教 科 領 域
富 士 見 中	考える力を深め、豊かに表現できる能力の育成 ～学習過程の改善を通して～	1 生徒に身につけさせたい能力について検討し、課題を明確にすれば授業改善の方向性が明らかになるであろう。 2 思考力を深めさせる過程・表現力を育てる過程を工夫すれば学習プロセスを明確にできるであろう	全 教 科 領 域
茂 原 中	確かな学力を身につけた生徒の育成 ～授業力の向上を通して～	各教科の学力観に基づき、「教師の授業に対する力量」と「生徒の自学自習の態度」を高める指導を工夫すれば、確かな学力の向上につながるであろう。	全 教 科 領 域
南 中	生徒一人ひとりの人間力の向上 ～各教科における指導法の工夫・改善を通して～	各教科の特性を生かしながら育てる人間力の要素を整理し、それらを指導目標に明確に位置づけて学習活動を工夫すれば、人間力が総合的に身に付くであろう。	全 教 科

学校名	研究主題	研究仮説・目標・視点	教科・領域
本 納 中	共に学び、共に感じ、共に高め合う生徒の育成 ～表現活動の充実を通して～	1 学習課題を明確にし、基礎的な知識・技能を活用するとともに生徒相互に相談し合う活動の場を意図的に位置づけられ、共に学び共に感じる生徒の育成ができるだろう。 2 多様なグループ活動の指導法を工夫すれば、より意欲的に活動し互いの良さを認め共に高め合う生徒を育成できるだろう。	全 教 科 全 領 域
早 野 中	主体的に学習に取り組み、豊かな表現力を育成する指導の工夫 ～学びを深める表現活動を取り入れた学習指導を通して～	1 学習課題や学習の流れを明確にすれば、見通しをもって、主体的に学習に取り組めるだろう。 2 学習活動における学び合う場を充実させれば、自ら考え表現する力が高まるであろう。	全 教 科 全 領 域
西 陵 中	自ら学び、思考し、表現する生徒の育成 ～学び合える場の設定の工夫を通して～	自己の考えを持ち、深めるための「学び合える場」の設定をし、学び合いの活動を充実させれば、思考し表現する力が高まるだろう。	全 教 科 全 領 域
一 宮 中	意欲的に学習に取り組み、確かな学力を身につけた生徒の育成 ～豊かな表現力の育成をめざした活動場面の工夫～	1 全ての教科の授業の中で、考えたり話し合ったりして身につけた知識・技能を活用する場を設定し、活動させることで、「表現力」が育つであろう。 2 少人数やグループ、ペア学習などの学習形態を取り入れ活動させることで、自ら表現しようとする意欲が高まるであろう。	全 教 科 全 領 域
白 子 中	目当てを持って授業に参加し、考え、学ぼうとする生徒の育成 ～家庭学習の充実をめざして～	1 生徒の好奇心を引き出す授業をめざした学習方法の工夫や評価の継続をすれば学習習慣が身につくだろう。 2 家庭学習の定着を図り、支援・評価をしていけば、基礎基本は定着し、学力は向上するだろう。	全 教 科 全 領 域
長 柄 中	学ぶ喜びを感じ、進んで学習に取り組む生徒の育成 ～指導法の工夫・改善を通して～	1 魅力ある題材を精選したり、教材・教具・資料の効果的な活用方法を工夫すれば、生徒は興味関心を持ち、学習意欲が向上するであろう。 2 目標に即した具体的な評価項目を設定し、個に応じた指導を充実すれば、生徒は習得すべきポイントが分かり学習しやすくなるであろう。 3 個人やグループで考えたり、実験・調査をしたり、発表したりする活動の場を充実させれば、生徒は、問題を解決する力・表現する力がついてくるであろう。	全 教 科 全 領 域
睦 沢 中	主体的に学び、互いに高め合う生徒の育成をめざして ～教科・領域の指導を通して～	1 学習課題を明確にし、基礎・基本の定着を図る授業づくりを実践することで、自ら解決する力が育つであろう。 2 学習過程の中で、教え合い・みがき合い・発表し合う場を位置づけることにより、主体的に学ぶ態度が育つであろう。 3 相互授業参観活動を通して、学習指導に関する共通理解を図ることにより、よりよい学習習慣が確立されるであろう。	全 教 科 全 領 域
長 生 中	確かな学力の向上をめざして ～基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る学習指導のあり方～	基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るために、以下のような手立てを講じれば、確かな学力の向上をめざせるであろう。 1 基礎的・基本的な知識・技能を習得させ、活用して考えたり表現したりする学習「教えて考えさせる」指導を行う。 2 生徒指導の機能を重視した「わかる授業」の展開を行う。	全 教 科
長 南 中	確かな学力を持ち、よりよく生きようとする、健康で心豊かな生徒の育成	1 各教科の授業の中で、家庭学習やドリルなど基礎学力の定着のための方策を工夫すれば、確かな学力を養うことができるであろう。 2 学び方や学習習慣確立のための方策を工夫すれば、学習への興味・関心が高まり、課題解決の達成感を得られるだろう。 3 家庭との密接な協力・連携を図れば、学習環境が整い、学習意欲が高まるだろう。	全 教 科 全 領 域

平成26年度長期研修生紹介



☆社会科☆
 長南町立長南中学校 椎原 政文
 〈研究主題〉
 言語活動を充実させるための社会
 科学学習の在り方
 ～地理的分野における地域の調査
 を通して～



☆理科☆
 一宮町立一宮中学校 関 智之
 〈研究主題〉
 電流・電圧をイメージ化して思考
 ・表現できる指導の工夫
 ～モデル教材の活用と言語活動の
 充実をめざして～



平成26年度 長期研修生 研究発表会のご案内

昨年度の長期研修生の研修成果を地域で共有することを一つの目的として、研究発表会を行います。特に、教研集会での提案者となっている先生方は、レポートのまとめ方など、是非参考にいただければと思います。多くの先生方の参加をお待ちしています。

○期日 8月11日(月)午後2時
 ○場所 長生教育会館2階大会議室

◇発表者◇

☆音楽科☆ 長柄町立日吉小学校 渡邊 千也
 〈研究主題〉
 音楽をつくる楽しさを体験できる学習指導の在り方
 ～児童が主体的・創造的に音楽とかわる音楽づくりの
 活動を目指して～

〈研究の概要〉
 ①鑑賞から手掛かりを得る音楽づくり②継続的な即興
 的表現活動③児童が音楽と主体的にかかわる工夫の3点
 から、鑑賞活動と相互に関連させた音楽づくりの学習過
 程を構成し、運動会で友達を応援する音楽「応援チャ
 ント」をつくる活動を行った。その結果、児童は思いや意
 図をもって試行錯誤しながら音楽をつくり、自分なりの
 音楽を追い求めることで、主体的・創造的に音楽とかわ
 ることができた。

☆体育科☆ 茂原市立豊田小学校 大倉 茂人
 〈研究主題〉
 全ての児童が力強く踏み切ることができるハードル走の
 授業の在り方
 ～簡易ハードルから正規のハードルへのスムーズな接続
 に着目して～

〈研究の概要〉
 ハードルに対する恐怖心をやわらげ、思い切りよく前
 に踏み切ることができるように、3種類の簡易ハードル
 を作成した。サーキットドリル運動や課題解決場面に各
 簡易ハードルを用いて、その効果を検証した。その結果、
 ハードリング距離が大きく伸び、正規のハードルにな
 っても力強く前に踏み切ることができた。また、全ての
 児童が記録を伸ばし、ハードル走を好きになった児童が
 増えた。

研 究 所 の 紹 介

所長 高山 佳久(白子町立南白亀小学校)

調査部

〈研究主題〉
 家庭学習の実態・意識に関する調査研究



相川 康弘
 (睦沢町立土睦小学校)
 徳永 哲生
 (白子町立白子中学校)
 江澤 尚美
 (長生村立八積小学校)
 安藤 和人
 (長南町立長南中学校)

家庭学習に対する子どもたちの実態や保護者の意識、茂原市・長生郡の小中学校での家庭学習に対する取り組みや教員の意識を調査します。学力向上に向けて、家庭学習充実への取り組みや保護者への働きかけがどのように行われているのかのデータ・知見を提供します。

研修部

〈研究主題〉
 特色ある教育活動で、生きる力を育む教育の実現を目指して



内山 清恵
 (長柄町立日吉小学校)
 関 里英子
 (茂原市立茂原小学校)
 西谷 美里
 (一宮町立一宮中学校)
 大倉 茂人
 (茂原市立豊田小学校)

「研究所だより」の発行や各種研修会の運営を行っています。

情報部

〈研究主題〉
 研究の深まりと校務の効率化を目指して



常世田伸吾
 (茂原市立萩原小学校)
 宇野 友美
 (茂原市立五郷小学校)
 茂住 卓生
 (茂原市立本納中学校)
 赤羽 大輔
 (茂原市立南中学校)

各校の校内研究に関する資料を集め、研究所ホームページにデータベース化して掲載します。



お知らせ

多くの指導案等のご寄贈をいただきましてありがとうございました。上記の情報部の欄にありますように、それらを研究所ホームページに掲載させていただいております。校内研究・個人研究などにご活用いただければ幸いです。また、ご要望などありましたら、お聞かせください。よろしく願います。

(www.choseikaikan.or.jp/publics/index/12/)

主事 中山 勝巳(茂原市立萩原小学校)